5 類移行後の反動や物価高なども影響し

業況・売上 持ち直しの動きに一服感

★ **「当面の経営上の問題点（複数回答）」**について、1 位が「原材料価格の上昇」の 131 社。2 位が「需要の停滞」の 127 社。「従業員の不足」が 71 社で 3 位。

★ **「最低賃金引上げに伴う対応」**について、「もともと最低賃金（970 円）より高かったが賃上げ」した事業所が 97 社と最多。以下、「最低賃金より低くなるため賃上げ」が 54 社、「商品やサービスの値上げ」が 34 社と続く。一方で「特に対応していない」は 70 社。

★ **「適格請求書発行事業者への登録」**について、「登録前から課税事業者」93.7%（236 社）と「登録前は免税事業者」1.6%（4 社）を合わせ、回答事業所の 95%以上が登録した。

令和 5 年 10～12 月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三 次 商 工 会 議 所

令和 5 年 12 月に実施した第 135 回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内(旧三次市)の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が 135 回目。

市内の 500 事業所を抽出し、集計企業数は 257 社（小売業 80 社、卸売業 26 社、製造業 35 社、建設業 57 社、運輸・交通業 15 社、観光・サービス業 44 社）で回収率は 51.4%。

【概況】

今期（10～12 月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況 D.I は、全業種平均で▲4.3 と、3 ヶ月前の前回調査から小幅ながら悪化した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が 1.6%、「やや好転」が 25.1%で、逆に「やや悪化」が 25.1%、「かなり悪化」が 5.9%だった。売上 D.I も▲2.6 から 0.5 ポイント悪化し▲3.1。コロナ禍前の 12 月期は、年末商戦や年度末に向けての受注増など季節的要因もあり数字的には改善しやすい時期ではあったが、前期のコロナ 5 類移行による回復の反動や物価高などによる消費マインドの低下もあり、業況、売上とも一服感がみられた。原材料（商品）仕入価格は 71.4 と依然として高値で推移。そのような中でも、採算 D.I は 4.9 ポイント改善し▲18.9。仕入価格やエネルギー価格高騰など不安要素は多いが、売上単価の上昇や価格転嫁の一部実施、業務の効率化などにより改善が見られた。

今回事業所に対し、「広島県の最低賃金 970 円への引き上げに伴う対応」について尋ねたところ、72%が何らかの対応を実施。具体的な対応策としては、「もともと最低賃金よりも高いが賃上げした」が 97 社で最多。「最低賃金より低くなるため賃上げした」も 54 社あり、仕入価格やエネルギー価格高騰などの経費負担が増えている中、人材確保や新規採用者とのバランスなどの理由から、多くの事業所が最低賃金の改定に合わせ、賃上げを実施。しかしながら、原材料や光熱費の高騰、社会情勢の変化など様々な要素が影響し、中小・小規模事業者が継続的な賃上げを行えるような環境には程遠い状況。今後は、事業者が商品やサービスの質を上げて、価格を上げても競争力を保てるような自助努力と、取引先や消費者も値上げ（価格転嫁）に理解を示し受け入れることが、継続的な賃上げに繋がっていくものだと思われる。

※ DI 値（景況判断指数）について

DI 値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

業況 DI （好転割合）－（悪化割合）
売上 DI （増加割合）－（減少割合）
採算 DI （好転割合）－（悪化割合）

業況は、全業種合計で今期▲4.3。業種別では、小売業と卸売業の 2 業種で改善。悪化した 4 業種のうち、運輸・交通業（17.6→6.7）と観光・サービス業（23.4→20.0）は前期ほどではないが、今期もプラス値。

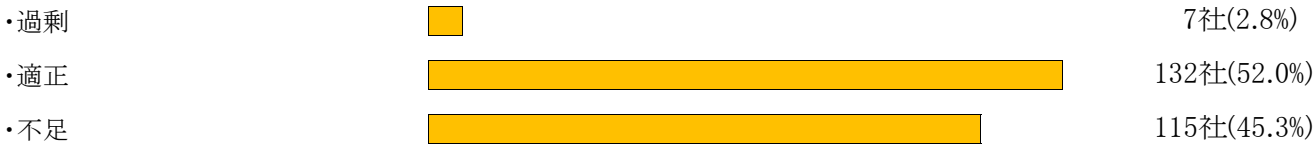
売上は、全業種合計で今期▲3.1。業種別では、卸売業と観光・サービス業の 2 業種で改善。数字的には悪化した運輸・交通業（23.5→13.3）を含め、卸売業（14.3）と観光・サービス業（17.8）の 3 業種がプラスの値。

原材料(商品)仕入価格は、全業種合計で今期 71.4。メーカーなどの値上げやガソリン、軽油価格の高止まりにより、依然として高値で推移しているものと思われる。

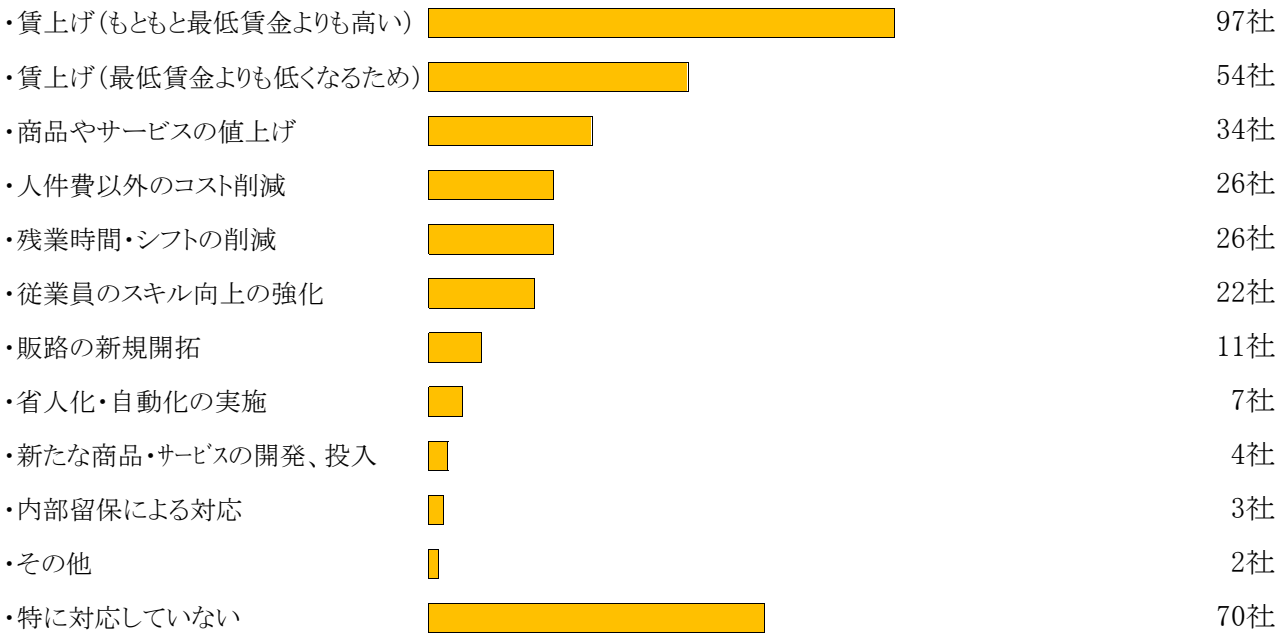
採算は、全業種合計で今期▲18.9。小売業、卸売業、運輸・交通業、観光・サービス業の 4 業種で改善。好転した理由は、売上の増加の他、売上単価の上昇が主。

【当面の経営上の問題点】（上位三項目・複数回答）

【現在の雇用人員についてどのようにお考えでしょうか？】



【10月に広島県の最低賃金が40円上がり970円になりました。最低賃金引上げに伴い、何か対応されましたか】（2つ以内）



【インボイス制度が10月1日にスタートしました。適格請求書発行事業者に登録されましたか】

※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 4.3	▲ 24.7
小売業	▲ 13.2	▲ 27.6
卸売業	0.0	▲ 39.3
製造業	▲ 21.9	▲ 15.6
建設業	▲ 6.8	▲ 28.8
運輸・交通	6.7	▲ 6.7
サービス業	20.0	▲ 17.8

（好転割合－悪化割合）

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 3.1	▲ 22.4
小売業	▲ 17.1	▲ 27.6
卸売業	14.3	▲ 46.4
製造業	▲ 21.9	▲ 6.3
建設業	▲ 3.4	▲ 27.1
運輸・交通	13.3	6.7
サービス業	17.8	▲ 13.3

（増加割合－減少割合）

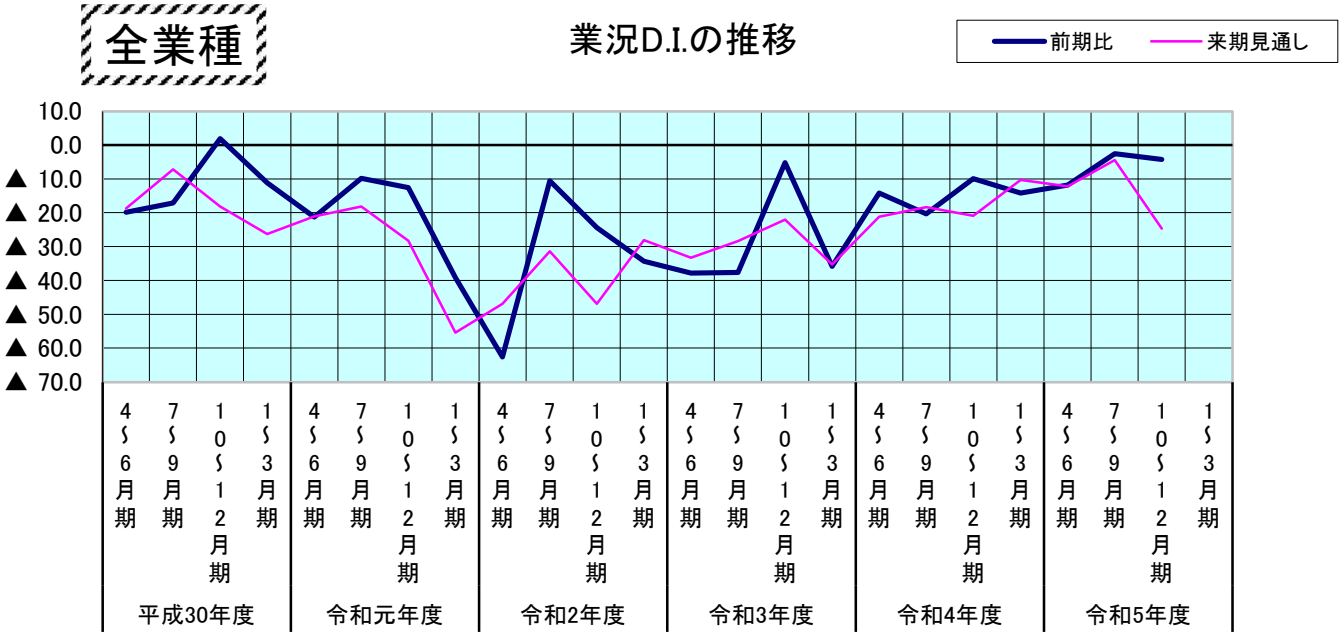
【採算（営業利益）DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 18.9	▲ 37.0
小売業	▲ 28.0	▲ 40.0
卸売業	▲ 7.1	▲ 57.1
製造業	▲ 25.0	▲ 34.4
建設業	▲ 15.3	▲ 40.7
運輸・交通	▲ 13.3	▲ 13.3
サービス業	▲ 13.3	▲ 24.4

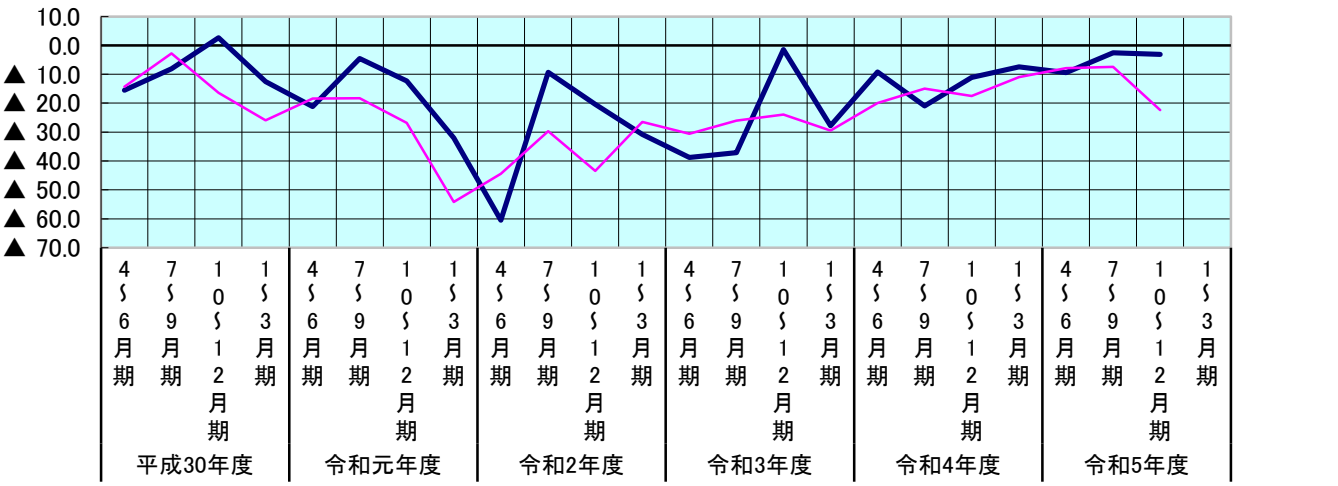
（好転割合－悪化割合）

全業種

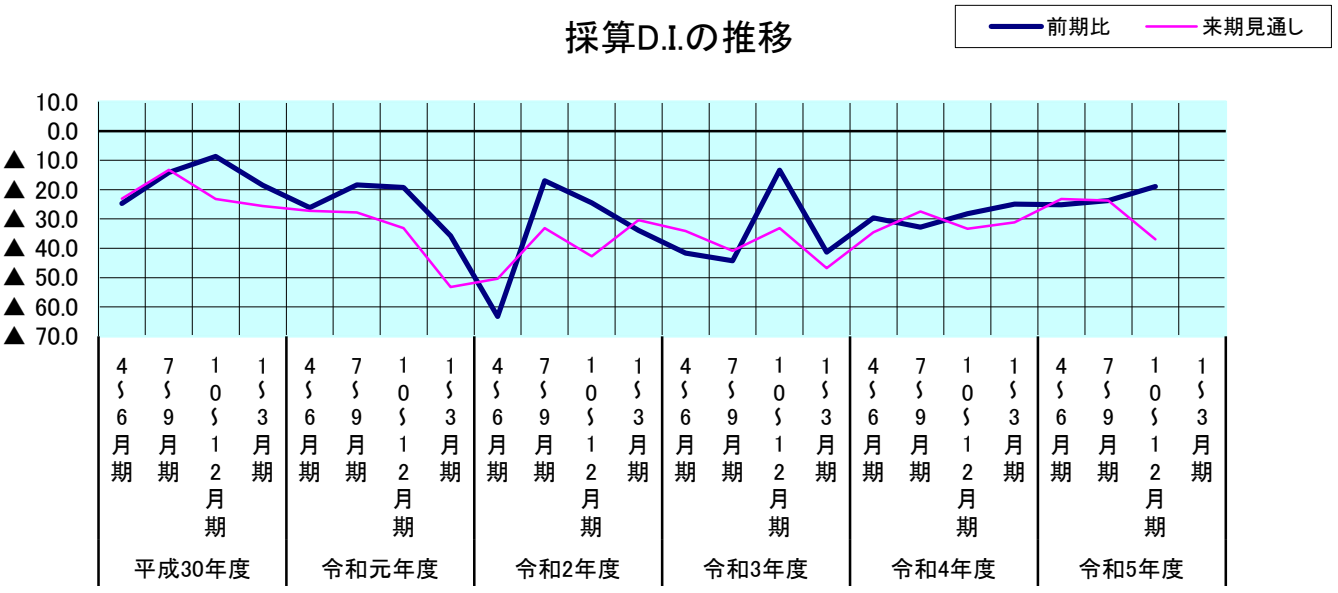
業況D.I.の推移



売上D.I.の推移



採算D.I.の推移



【景気天気図】

業　　種	項　　目	業　況	売　上	採　算
小　売　業	10月～12月 実　績			
	1　～　3　月 見　通　し			
卸　売　業	10月～12月 実　績			
	1　～　3　月 見　通　し			
製　造　業 （工　業）	10月～12月 実　績			
	1　～　3　月 見　通　し			
建　設　業	10月～12月 実　績			
	1　～　3　月 見　通　し			
運輸･交通業	10月～12月 実　績			
	1　～　3　月 見　通　し			
観　光 サービス業	10月～12月 実　績			
	1　～　3　月 見　通　し			

景　気　天　気　図　の　説　明

大変良い

良い

まあまあ

少し悪い

悪い

大変悪い